

くがはら



題字:三木 兼吉

防 災 特 集

久が原地区総合防災訓練に参加しましょう

久が原地区自治会連合会会長
小原 洪一

本年度の大田区総合防災訓練に久が原地区が指定され、平成27年12月6日(日)に開催されます。通常の防災訓練は自治会単位または防災活動拠点単位で行われていますが、久が原地区総合防災訓練は大田区防災課ならびに

消防・警察はもちろんのこと久が原特別出張所管内の5自治会ならびに管内の金融、商店、企業等も参加しおこなわれます。

久が原各所でのまちなか訓練の後、松山小で数百人の避難者を受け入れて、防災拠点としての訓練を予定しています。

防災塾に参加して (東松島市の教訓)

6月29日の事前学習をへて、7月11日～12日にかけて東松島市の野蒜地区を中心に被災地研修に総勢25人の1人として参加した。バスの中でビデオ学習をしながら、旧野蒜小学校校庭にある仮設の野蒜市民センターに、約6時間かけて到着した。

1日目はボランティアガイド三浦さんの案内で、旧野蒜駅や津波に流されたお寺などの被災状況と、

高台移転の宅地造成地や新駅など復興に向けての歩みなどを視察した。がれきはすべて撤去されているが、まだ被災した家が残っている状況で、家の再建や高台移転はあまり進んでいない。当日の研修の最後に標高100mの大高森に登り、東松島市全体を俯瞰して被災地域の説明を受けた。

2日目は野蒜市民センターで「野蒜まちづくり協議会」斎藤会長と民生委員の奥田さんから、被災状況と被災体験を約2時間伺った。斎藤会長の被害状況説明の後、民生委員の奥田さんが、身体が不自

由なお年寄りと車で避難している時に津波に流され、九死に一生を得たとの体験談を話された。

最後に斎藤会長がまとめとして、
①想定にとらわれないで避難すべきであるし、夜間の災害も訓練すべきである。
②近隣の自治会と日ごろから協力関係を築いておく。
③災害時には現地対策本部を早急に立ち上げリーダーを決めること、防犯体制構築も忘れずに、と締めくくられた。

被災地を見学し、体験談を聞き、参加者それぞれ大いに感じるものがあり、その内容を帰りのバスの



ボランティアガイドの説明をうけている様子

中で一人一人発表して防災塾を終えた。(中安 久司)

*防災塾では、①事前学習 ②現地研修(1泊2日) ③事後学習・ワークショップが行われました。日ごろの防災意識向上等を目的として、具体的な学習・体験の機会を提供しています。大田区の特別出張所管内ごとに開催。

- ◇活動
 - ・各訓練(可搬ポンプ操法・AEDを使用した応急救護水防)
 - ・年末特別警戒
 - ・イベントの場内整備
 - ・現在約20名
- ◇役割
 - 災害時の消防活動
- ◇地域
 - 久が原東西自治会
 - 池上3丁目の部

田園調布消防団
第5分団

【お問い合わせ】
田園調布消防署 3727-0119
団長 西尾 泰祐 3754-0819

団員募集中

久が原西自治会
市民消防隊

まちの消防活動紹介①
～防災リーダーになつて
自分たちのまちを
安心・安全に～

【お問い合わせ】
隊長 中嶋 達也 3753-0409

久が原西自治会
市民消防隊

◇地域
久が原西自治会

◇役割
・地震発生時の初期消火と避難道路周辺の延焼防止
・災害時の後方支援

◇活動
・月に1～2回 初期消火のための放水訓練
・年末夜警(12月26日～31日)
・防災訓練参加者のサポート
・イベントの場内整備
・現在約20名

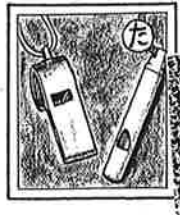
◇女性による三ポンプ隊も活動しています

隊員募集中

【お問い合わせ】
隊長 中嶋 達也 3753-0409



練習しよう
頭をまもる
体勢



助けてと
声は出ずとも
ホイッスル



消火もうムリ
天井まで火が
とどいたら

くがはら
家庭防災カルタ
とっさのとき編

～癒やしの音色を皆様へ～
オーボエ奏者 三木 サトル



オーボエを始めたのは19歳の時、普通大学の吹奏学部に入部したのがキッカケでした。もともとオーボエの音色が好きだったので、お金を貯めてオーボエを買い、最初の2年間は独学で練習をしました。大学4年になり進路に悩んでいたある日、たまたま吹奏楽部に講師としてやって来たプロの奏者に会い、音楽大学への進学を決意しました。彼も19歳から始めたというのです。1年間、受験勉強とオーボエの練習を重ね、音楽大学に合格しました。音楽大学の生活がスタートしましたが、私にはオーボエ以外にも打ち込んでいることがあります。それが「チャリ旅」です。毎年夏休みに東京から目的地を決めて、ママチャリで旅をしていました。初めてのチャリ旅は栃木で、その後毎年少しずつ距離を伸ばし、福岡、北海道、そして47都道府県を訪れました。旅路で観た美しい風景を曲にして現在、オーボエで吹いています。音楽大学を卒業後は、ライブハウス、ショッピングモール、ディサービスなどさまざまな場所で活動しています。オーボエという楽器は「癒やし」という言葉がとてもしっくりくる音色なので癒やしの音楽を皆様にお届けしています。

今年の12月5日(土)に区民プラザでの演奏が決まりましたので、多くの「癒やし」を皆様にお届けするため、鍛錬に励みたいと思います。

～大森十中にチアリーディング部誕生～

大森第十中学校長 川上 雅次

クルセイダースは昨年、平成26年4月に創部されました。近年、小学生以下の女子にチアリーディングが流行しており、十中の体育館でも水曜日の夜や土・日にたくさんの児童・生徒が練習しています。一方、都立雪谷高等学校ではチアリーディングを特別推薦入試の対象にしています。このような時代的ニーズの中、「公立中学校にもチア部を作って欲しい」という要望があり、本校に創立する運びとなりました。



(大田スタジアムにおいて野球部の応援を行う)

現在2年生女子10名で、顧問の五十嵐先生、外部指導員の鈴木コーチのもと、週4回の練習をしています。部のモットーは「いつも笑顔で、見る人に元気・勇気・希望を与える」です。今年1月の成人式に招待され大田体育館で演技を披露したり、薬物乱用防止キャンペーンやユニバーサル駅伝でも演技をしました。

有明コロシアムで行われた関東大会(6月)ではノームスの演技により全国大会(7月)に進出、優勝しました。また、8月の大会においても優勝を果たしました。

今後も技を磨き、いつも笑顔で、困っている人、苦しんでいる人、頑張っている人を応援していきたいと考えています。

株式会社 松本鐵工所 (営業本部)



オーダーメイドの製品・技術を提供します

(搭乗橋)

事業内容は…

会社全体(10か所の事業所)では製紙機械の据付け、メンテナンスをメインに、内3か所の事業所では、一般産業機械・製紙機械装置・各種部品・空港、および港の搭乗橋などを製作し国内全土にわたり納品しており、場合によっては現地での据付けも行っています。また、札幌ドームの開閉式可動席、青森県五所川原の立役武多館の大扉なども弊社で製作したものです。都内では羽田空港の搭乗橋、竹芝棧橋の搭乗橋を納入させて頂いております。皆様が飛行機、船に乗る際、待合室と飛行機・船をつなぐトンネルのような通路が搭乗橋です。

久が原に事業所を構える理由

営業本部は昭和26年8月初代社長の宅地の一部(さくら公園向かい)に事務所を開き、東京支店として開設されました(本社は北海道苫小牧市)。製紙会社およびメーカー各々の本社が東京にあり、営業がしやすいこと、全国各所への移動が便利ということなどでこの地になったようです。

ものづくりへの思い

当社では、自社ブランドの製品はありませんが、設計から製作、組立て、現地での据付けまで一貫して遂行できます。皆様のご要望に合わせてより良い製品、また、技術を提供することによって社会に奉仕していきたいと思っております。

住所 大田区久が原4-44-9
代表取締役社長 松本 紘昌

イベント情報

- ◆第23回さら祭
【日時】10月3日(土) 10:30~15:00
【場所】久が原福祉園
- ◆ふれあいまつり2015
【日時】10月3日(土) 10:00~20:00
10月4日(日) 10:00~16:00
【場所】雪谷文化センター
- ◆第26回ふれあい久が原大運動会
【日時】10月4日(日) 9:15~15:30
【場所】松仙小学校
- ◆久が原地区自治会連合会研修旅行
【日時】11月4日(水)
【場所】印旛・成田方面
- ◆ヒルズ久が原自治会防火・防災訓練
【日時】11月15日(日)
【場所】ヒルズ久が原全域
- ◆ヒルズ久が原自治会イルミネーション点灯式
【日時】11月28日(土)
【場所】ヒルズ久が原管理棟内
- ◆久が原南自治会クラブまつり
【日時】11月29日(日)
【場所】久が原クラブ
- ◆大田区総合防災訓練
【日時】12月6日(日)
【場所】松仙小学校



自治会 What's new.

～各自治会の新しい取り組みをご紹介します～

平成目安箱 愛称「パンダボックス」を設置!

道々橋自治会長 醍醐 俊雄



道々橋自治会では会員同士の交流・親睦を図ることがその役割の一つであるとして、自治会事務所(道々橋八幡神社事務所)脇に「目安箱」を設置しました。親しみやすく多くの方に愛されるパンダをイメージキャラクターとしました。

- 日頃、何気なく疑問に思っていること
- 聞いてもらいたいが話せる相手がない
- 若いお母さんたちの子育てで悩んでいること
- 子供たちの元気な声を聞いて元気をもらった などなど

お悩みやお困り事を一朝一夕に解決するのは難しいのですが、一人で抱え込まないことが大切です。

投函されたお手紙はプライバシーを守り、内容に応じて適切に対応いたします。

また、楽しいお話は自治会だよりでご紹介もできます。暮らしの中でのお悩みやお気付きの点、楽しいお話など、是非お待ちしております。

地域情報紙

くがはら

発行: 地域力推進久が原地
区委員会

編集: 地域情報紙「くがはら」
編集委員会

事務局: 大田区久が原特別出張所
〒146-0085 大田区久が原4-12-10
TEL (3752) 4271
FAX (3752) 4514

久が原地区管内

<人口>
男 13,877人
女 14,526人
計 28,403人

<世帯数>
13,095 世帯

平成27年9月1日現在

【編集後記】

「地元を愛着を持つためには地元の事を良く知る必要があります。」(情報紙第100号記念展示会感想ノートより)

「まちを知ること」は防災にもつながります。地域情報紙がその一助となれますように。

富田 永美